

市内の小・中学校で英語を教えているA.L.T. (外国語指導助手)の皆さんが、久慈で生活して感じてきたことを紹介するコーナーです。

## My life in Kuji



**ホイットニー・シーバートソン**  
 インディアナ州・24歳/長内小、小久慈小、大川目小、宇部小、久喜小、小袖小、長内中、大川目中、宇部中、三崎中を担当

### 新年の伝統

季節が移り変わるように新しい年を迎え、新年ならではの伝統もやって来ます。日本と同じように、アメリカの人々も新年の抱負を書いたり、新年の特別番組を見たりします。

最近私は「日本ではあまり知られていないアメリカの新年の伝統」を思い出しました。それは“ボールドロップ”と呼ばれ、ニューヨークのタイムスクエアで行われる大晦日のカウントダウンイベントのことです。広場の近くにある高いビルの屋上に、ライトで輝く大きな球体が設置されます。見た目は巨大なディスコボールのようです。23時59分になると、そのボールが上からゆっくりと降り始めます。1分かけてゆっくり降りてくるボールを見ながら、会場やテレビの前の人と一緒にカウントダウン。ボールが一番下に着いた瞬間、みんなで「明けましておめでとう！」と声を出して新年を祝います。

皆さんが素敵な新年を迎えられることを願っています。そして、どうぞ良い一年をお過ごしください！

市民

## センターだより

宇部市民センター  
 ☎56-2706



### 宇部市民センター事業紹介 第46回町民文化祭

11月8日、9日の2日間、宇部市民センターで町民文化祭を開催しました。

展示部門では宇部地区の保育園、小中学校、住民の作品や市民センター事業で作った創作作品などを展示。毎年恒例の盆栽の特設コーナーや大型ののこぎり「大鋸」の展示、薪切り体験のコーナーが設けられました。販売部門では、地域の団体やスポーツ少年団、保育園や老人クラブによる模擬店のほか、野菜や魚などの販売も行われ、大いににぎわいました。文化祭2日目では、昨年好評だった餅まきも行われ、子どもから大人まで多くの人々が参加し盛り上がりました。文化祭の終了間際には、くじ引きによる盆栽抽選会が行われ、無事に閉幕しました。

町民文化祭は、毎年宇部町の関係団体や住民の皆さんによる実行委員会を組織し、準備や運営を行っています。今年度も各方面の皆さんからのご支援・ご協力により大成功に終わりました。この場をお借りして感謝申し上げます。

### 久慈市や協力隊の仕事をおためし！

11月22日から24日の3連休に2泊3日のおためし地域おこし協力隊ツアーを行い、地域おこし協力隊への応募に興味がある4人に参加いただきました。市内観光やまめづくり体験などで久慈市を楽しんでもらい、協力隊とのフィールドワークや交流会を通じて協力隊の仕事をイメージしてもらいました。アンケートは高評価で、自分も改めて「久慈市はやっぱり魅力ある街なんだな」と思いました。翌週28日は東京交通会館で行われた「地域おこし縁むすびキャラバン」に出展し、久慈市をPRしてきました。地方移住を検討している方は、地域のために役に立ちたいと考えている人が多い印象です。毎週水曜日（不定休）13時半～17時まで、コワーキングスペースライオンにて移住と空き家バンクの相談会をしています。I・Jターンのいわゆる新規移住の人だけでなく、Uターンの相談も大歓迎です。親御さんやお友達からの相談も可能です。気軽に連絡ください！

## 移住コーディネーター通信

**藤織 ジュン** さん  
 (ふじおり・じゅん 34歳)



ツアー参加者と記念撮影

●藤織ジュンさん…2018年に協力隊を卒業し、現在は合同会社プロダクション未知カンパニー代表社員を務める。2022年8月より移住コーディネーターとしても活躍。SNSの活用や移住定住のイベントなどに参加し、久慈市の魅力発信を行っている。



Name  
**門ノ澤 大介** さん  
 かどのさわ だいすけ (長内町・28歳)

Profile  
 カフェLinen代表

■カフェLinen  
 ▶営業時間…10時～18時  
 ▶定休日…火曜日  
 ▶住所…長内町37-15-13  
 ☎75-3155

## きらり人輝く

リネン生地のように、暮らしとまちにやさしく寄り添う高品質のコーヒーを提供  
**久慈発のコーヒーを届けたい**

家業の飲食店を手伝いながら、長年の夢だったカフェをオープンさせた門ノ澤さん。コーヒー、お店のこだわりや今後の目標について伺いました。

### ■身近にあったコーヒー

両親がコーヒー好きで、小さい頃からコーヒーが身近な存在でした。高校生の頃に自分も飲み始め、毎朝飲むことが習慣に。大学3年生の頃に自分で店を持つことを決心し、久慈に戻って家業の飲食店を手伝いながら独学でコーヒーや経営を研究。本やSNS、カフェを訪れて学んだことを自分で試し、イベントでの販売を重ねました。自分でも納得がいく味に安定してきたので、出店を決意しました。

### ■こだわりのコーヒーを提供

コーヒーは国際基準で80点以上を獲得した、高品質なスペシャルティコーヒーを専門に扱い、産地や生産者の思いが分かるトレーサビリティも大切にしています。豆を仕入れる前には、必ずサンプルを取り寄せて試してから納得のいくものを購入。豆のポテンシャルを生かし、店に合うように焙煎し

ています。こだわりの自家製スイーツも提供。季節の食材を使い、コーヒーに合う優しい味わいのパウンドケーキを数種類用意しています。

店舗は老若男女問わず誰もが入りやすい雰囲気を意識しています。子ども連れの人にも入りやすいように、区切られたキッズスペースも設置しました。普段使いしてもらえなお店にしていきたいです。

### ■今後の目標

今後はオンライン販売をスタートさせて成長させていき、ゆくゆくは市外にも出店して市内外の人にコーヒーを届けていきたいです。家業と両立させる道を模索して悩んだ時期もありましたが、今は事業を拡大し、経営者として関わっていただけると考えています。久慈発祥のコーヒーとして発信していきますので、成長していく姿を応援してもらえたらうれしいです。



コーヒーを入れる門ノ澤さん



祖母がやっていた釣具店を改装してオープン



区切られたキッズスペース



数種類のコーヒーが試飲できます



店頭には並ぶオリジナルコーヒー